

記入例

【両面印刷不可】

2B

家庭状況申立書(1-2)

※学生本人が記入する(保護者の代筆不可)
本人が記入できない事情の者は申し出る

※極太線の枠内を漏れなく記入し、○を付ける
(色付きの欄には記入しない)こと

氏名 **名古屋 ひかり** 学籍番号 **231820**

住民票に氏名の記載があり、別生計の者
 続柄 **兄** 氏名 **名古屋 はやぶさ**
 理由: **東京で就職したため、家を出て一人暮らしをしています、住民票を異動していません。**
 実際の居住地: **東京都足立区なすの1-1 メゾンこまち202**

特別理由 **あり** ・ なし ←「あり」の場合は、その旨を上段の家庭事情欄に記入し、事前に学生課へ相談すること
 ※生活保護法による被保護世帯の者、授業料の納期限6ヵ月以内(新入生は入学前1年以内)に主たる計支持者が死亡・長期療養・失業等により家計維持が困難になった、風水害等により本人または学資負担者の家屋が損壊・流失・床上浸水等の被害に遭った

| 3 就学状況 | 名前(続柄) | 通学区分 | 種別番号 | 種別番号一覧 (←通学区分横に番号を記入する) | 控除額 |
|-------------------|---------------------------|---|-----------|--|---|
| | ひかり (本人) | 就業中及びハローワーク紹介の職業訓練校の就学者(学費を給与で賄える父母・兄弟姉妹)は記入しない(対象外) 名古屋市立大学 | 自宅(独立) | 2 | ①名市大/自宅(独立)・本人→兄弟⑮ ②名市大/自宅外・本人→兄弟⑯ ③小学生 ④中学生 |
| みずほ (妹) | 国公立・私立 大和学園大学 学 1 年 | 自宅 | 15 | ⑤高等学校/自宅 ⑥高等学校/自宅外 ⑦高等専門学校(1~3年)/自宅 | (B) |
| さくら (妹) | 国公立・私立 やまと中学 学 1 年 | 自宅 | 4 | ⑧高等専門学校(1~3年)/自宅外 ⑨高等専門学校(4~5年)/自宅 ⑩高等専門学校(4~5年)/自宅外 | (C) |
| | 国公立・私立 | 自宅 | | ⑪専修学校・高等課程/自宅 ⑫専修学校・高等課程/自宅外 ⑬専修学校・専門課程/自宅 | (D) |
| | | 自宅 | | ⑭専修学校・専門課程/自宅外 ⑮大学・短大/自宅 ⑯大学・短大/自宅外 | (D) |

離婚調停中等、特別な事情により父子・母子世帯での申請をする者は、必ず内容のわかる公的文を提出する。

戸籍謄本は、在籍中(初めての申請時)に一度の提出で可。
戸籍上の離別・死別であっても戸籍謄本に離死別の時期が記載されない者は、事情申立書に必要事項を記入し提出する。
戸籍上の離別・死別及び未婚以外は、原則父子母子認定できません。

離別・死別・未婚のわかる戸籍謄本の提出時期を記入する。提出時期を忘れた者、過去に未提出の者は、今期に提出する

死別の場合は必ず記入する。遺族年金有に○を付け、受給中・停止中の別を記入する

| | | | | | | | |
|----------------|---------------------------------|---|-------------------------------|--|------------------------|------------------------|-----|
| 4 特別控除の状況 | 父子・母子 孤児等 | 父子・母子 | 両親ともに離死別 | 平成 30 年 10 月 戸籍謄本提出時期: 大学院1年は要提出 | 離別・(死別)・未婚 年度 前期・後期 | 遺族年金: 有・無 (受給中・停止中) | (F) |
| | 障害のある者 | 障害等級 1~2級 | 該当者の家庭状況申立書(1-1)に記載の続柄番号・続柄 | | ④祖父 | 1 人 | (G) |
| | | 障害等級 3~5級 | 該当者の家庭状況申立書(1-1)に記載の続柄番号・続柄 | | | 人 | (H) |
| | 長期療養 (6ヵ月以上) | 療養費(実費・介護にかかる費用を含む) 療養開始: R6 年 6 月 から | | 続柄 祖父 | 金額 120 万円 | | (I) |
| 子の人数 <3人以上> | ①本人を含む就学者のうち父母を除く子の数 3 人 | | ②未就学児童の数(小学校入学前の者) 0 人 | 合計(①+②) 3 人 | | (J) | |

| | | | | |
|-------|-------------------------------------|--------|---|------------------------------|
| 大学記入欄 | 生活保護世帯 <特例 5-(1)> | 該当・非該当 | 控除額合計 (A)~(I)の合計 | ②((A)~(J)の計) |
| | 非課税世帯 <特例 5-(1)> | 該当・非該当 | 認定総額所得金額 (①-②) | ③(①-②) |
| | 世帯人数(住民票記載の人数) ※ただし同一生計(別生計者は除く) | 人 | JASSO(第I種)認定所得金額 | ④ |
| | 所得割合 ③÷④ | % | 所得計算による結果 全免・1/2免・1/4免・不可 | 成績 可・不可 |
| | 特例事由 該当 | 無・有 | 事由 5-(1)生保・非課税, (4)死亡 (5)被災全・半, (6)一部被災, (7)特別 | 特例事由による結果 全免・1/2免・1/4免・不可 |
| | | | 最終判定 | 全免・1/2免・1/4免・不可 |

【両面印刷不可】
※必ず記入例に従うこと

2B

家庭状況申立書(1-2)

※学生本人が記入する(保護者の代筆不可)
 本人が記入できない事情の者は申し出る

※極太線の枠内を漏れなく記入し、○をつける
 (色付きの欄には記入しない)こと

| | |
|----|------|
| 氏名 | 学籍番号 |
|----|------|

| | |
|--------------------|-----------------------------|
| 住民票に氏名の記載があり、別生計の者 | 続柄 () 氏名 () 続柄 () 氏名 () |
| 理由: | |
| 実際の居住地: | |

| | |
|------------------|--|
| 特別理由 | あり ・ なし ←「あり」の場合は、その旨を上段の家庭事情欄に記入し、事前に学生課へ相談すること |
| ※に該当する場合は、「あり」に○ | ※生活保護法による被保護世帯の者、授業料の納期限6ヵ月以内(新入生は入学前1年以内)に主たる計支持者が死亡・長期療養・失業等により家計維持が困難になった、風水害等により本人または学資負担者の家屋が損壊・流失・床上浸水等の被害に遭った(成績緩和) |

| 3 就学状況 | 名前 (続柄) | 学校区分 (学校名) | 通学区分 | 種別番号 | 種別番号一覧 (←通学区分横に番号を記入する) | 控除額 |
|-----------|---|-------------|--------|------|--|---|
| | 名前 (本人) | (公立)名古屋市立大学 | 自宅(独立) | 自宅 | | ①名市大/自宅(独立)・本人→兄弟⑬ ②名市大/自宅外・本人→兄弟⑬ ③小学生 ④中学生 |
| () | 学校名 国公立・私立 学 年 年 小・中・高校・高専・大学・専修(高等・専門) | 自宅・ 自宅外 | 自宅 | | ⑤高等学校/自宅 ⑥高等学校/自宅外 ⑦高等専門学校(1~3年)/自宅 | (B) |
| () | 学校名 国公立・私立 学 年 年 小・中・高校・高専・大学・専修(高等・専門) | 自宅・ 自宅外 | 自宅 | | ⑧高等専門学校(1~3年)/自宅外 ⑨高等専門学校(4~5年)/自宅 ⑩高等専門学校(4~5年)/自宅外 | (C) |
| () | 学校名 国公立・私立 学 年 年 小・中・高校・高専・大学・専修(高等・専門) | 自宅・ 自宅外 | 自宅 | | ⑪専修学校・高等課程/自宅 ⑫専修学校・高等課程/自宅外 ⑬専修学校・専門課程/自宅 | (D) |
| () | 学校名 国公立・私立 学 年 年 小・中・高校・高専・大学・専修(高等・専門) | 自宅・ 自宅外 | 自宅 | | ⑭専修学校・専門課程/自宅外 ⑮大学・短大/自宅 ⑯大学・短大/自宅外 | (D) |
| () | 学校名 国公立・私立 学 年 年 小・中・高校・高専・大学・専修(高等・専門) | 自宅・ 自宅外 | 自宅 | | | (E) |

| | | | | | |
|----------------|------------------------|------------------------------------|---|-----------------------|-----|
| 4 特別控除の状況 | 父子・母子 孤児等 | 父子・母子・ 両親ともに 離死別 | () 年 月 離別・死別)・未婚 戸籍謄本提出時期: 年度 前期・後期 大学院1年は要提出 | 遺族年金:有・無 (受給中・停止中) | (F) |
| | 障害のある者 | 障害等級 1~2級 | 該当者の家庭状況申立書(1-1)に記載の続柄番号・続柄 | 人 | (G) |
| | | 障害等級 3~5級 | 該当者の家庭状況申立書(1-1)に記載の続柄番号・続柄 | 人 | (H) |
| | 長期療養 (6ヵ月以上) | 療養費(実費・介護にかかる費用を含む) 療養開始: 年 月から | 続柄 | 金額 万円 | (I) |
| 子の人数 <3人以上> | ①本人を含む就学者のうち父母を除く子の数 人 | ②未就学児童の数 (小学校入学前の者) 人 | 合計(①+②) 人 | (J) | |

| | | | | |
|-------|-------------------------------------|--------|---|------------------------------|
| 大学記入欄 | 生活保護世帯 <特例 5-(1)> | 該当・非該当 | 控除額合計 (A)~(I)の合計) | ②((A)~(J)の計) |
| | 非課税世帯 <特例 5-(1)> | 該当・非該当 | 認定総額所得金額 (①-②) | ③(①-②) |
| | 世帯人数(住民票記載の人数) ※ただし同一生計(別生計者は除く) | 人 | JASSO(第I種)認定所得金額 | ④ |
| | 所得割合 ③÷④ | % | 所得計算による結果 全免・1/2免・1/4免・不可 | 成績 可・不可 |
| | 特例事由 該当 | 無・有 | 事由 5-(1)生保・非課税, (4)死亡 (5)被災全・半, (6)一部被災, (7)特別 | 特例事由による結果 全免・1/2免・1/4免・不可 |
| | | | 最終判定 | 全免・1/2免・1/4免・不可 |